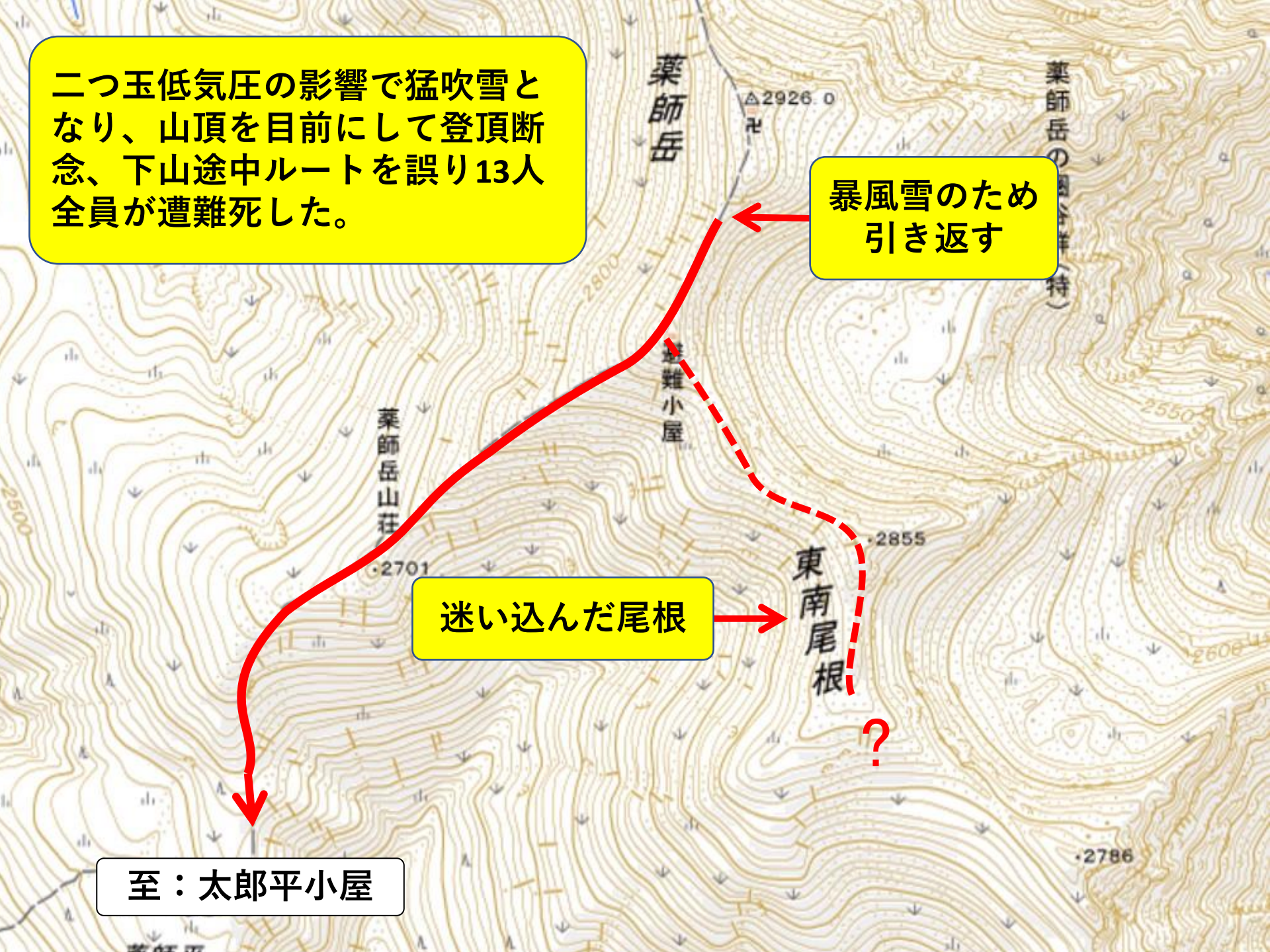


二つ玉低気圧の影響で猛吹雪となり、山頂を目前にして登頂断念、下山途中ルート进行を誤り13人全員が遭難死した。

暴風雪のため引き返す

迷い込んだ尾根

至：太郎平小屋



1月1日は昭和38年1月豪雪によって悪天候となり、両大学とも小屋に足止めとなったが、翌2日は早朝から愛知大学のパーティーが移動を開始。山頂までのルートの途中でキャンプ（C3）の設営を行った。設営中、小屋を遅く出発した日本歯科大学パーティーがキャンプの横を通り過ぎると、愛知大学パーティーも再び登頂を再開。頂上まで300m程度の地点で、先行する日本歯科大学パーティーに追いついて来た。この際、日本歯科大学パーティーが目撃した愛知大学側の装備は、1人がザックを背負うのみで残りのメンバーは軽装備といった状況であった（極地法の訓練と言うよりは、むしろアルパインスタイルに近い装備、行動である）。しかしこの直後、天候が急激に悪化し、視界が効かない猛吹雪になり両パーティーは相互の場所を見失う。

事故の報告書では遭難の原因は断定していないものの、遭難に結びついたであろう幾つかの素因（メンバー構成、判断ミス、準備・装備の欠如等々）を挙げ、相互作用によって遭難に至ったものであろうと推測している。少なくとも、メンバーの中で地図とコンパスを持っている者は誰ひとりいなかった。（HP参照）

参考にさせて頂いたHP：

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%84%9B%E7%9F%A5%E5%A4%A7%E5%AD%A6%E5%B1%B1%E5%B2%B3%E9%83%A8%E8%96%AC%E5%B8%AB%E5%B2%B3%E9%81%AD%E9%9B%A3%E4%BA%8B%E6%95%85>